シラバス参照

タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS1303		
科目名	競技スポーツ習得実習Ⅰ		
担当教員	上野　広治		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金１		
講義室	1306	単位区分	選
授業形態	実習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード ＤＰ２-Ａ　〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 ＤＰ４-Ｆ　〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ４-Ｉ　〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ＣＲコード Ａ２　異文化適応（２０%） Ｆ１　探求と論拠（１５%） Ｆ２　課題解決（１５%） Ｉ３　情報分析（５０%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 ２ 進行期 ～ ３ 発展期		
科目概要・キーワード	自身のスポーツ実践活動を対象として、学生自身が新しい運動感覚能力を生み出す創発能力の観点から分析し、自身の運動能力の向上を図ることを目標とします。これらの活動内容は所定の創発能力分析報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、自身の創発能力の向上に寄与する要因を導き出せるような能力を習得します。授業形態は実習形式により行います。なお，対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として，又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：　コツ創発能力、カン創発能力 、反省的議論、他種目理解		
授業の趣旨	■副題 自身の競技力向上のための創発能力について学習し、グループワークを通して競技力向上の要因を探ります。 ■授業の目的 様々な競技種目の学生との議論の中で共有した知識を自身のスポーツ活動で実践し、競技力向上のための技や動きの感覚やイメージについて表現できる能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 自身の専門とするスポーツ活動における感覚やイメージを記録した創発能力分析報告書を基に、様々な競技種目の学生と種目横断的に知識や情報を共有し、自身の競技力向上の要因について考え、議論します。		

総合到達目標	■スポーツ活動における動きや技の感覚やイメージを自身の言葉で表現できるようになるために、創発能力分析報告書等の作成を通して言語化する力を身につける。 ・競技スポーツにおける創発能力について説明できるようになる。（1～3回目、14、15回目） ・自身の競技の動きや技に関する課題を設定し、日々の練習において分析できるようになる。（4～13回目） ・創発能力分析報告書の作成を通して、自身の競技における動きや技の感覚やイメージを感じる。（4～13回目） ■自身の競技力向上のために、種目横断的な議論や分析を通してコツやカンを共有し実践できるようになる。 ・自身の競技における動きや技の感覚やイメージを具体的に述べることができるようになる。（4～13回目） ・創発能力分析報告書に記載の課題から種目横断的なグループワークを実施する。（4～13回目） ・グループワークにおいて積極的に討議する。（4～13回目）
成績評価方法	■レポート１回（２０％）：適用ルーブリック　Ａ２・Ｆ２・Ｉ３ （評価の観点）授業内容を踏まえて自身の考えを具体的な表現を用いて記述できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■創発能力分析報告書（３０％）　：適用ルーブリック　Ｆ１・Ｆ２・Ｉ３ （評価の観点）授業内容を踏まえて自身の考えを詳細に表現できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■授業参加度（５０％）　：適用ルーブリック　Ａ２・Ｆ１・Ｉ３ （評価の観点）グループディスカッションへの参加度や議論内容について、授業資料への記入状況により評価します。 （フィードバック方法）授業資料をまとめたファイルを回収し、そのファイルの返却時に行います。
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	特にありません。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ 　ガイダンス ②授業概要 　授業の概要、目的、進め方や成績評価について、授業準備を具体的に行う（Ｉ３）。 ③予習（60分） 　シラバスの内容を読み、把握しておく。 ④復習（60分） 　再度シラバスをよく読み、次週以降の授業の流れを確認しておく。
2	①授業テーマ 　創発能力とは① ②授業概要 　創発能力とは具体的にどのような能力であるのか、また、本実習における創発能力の捉え方について学び、説明できるようになる（Ｆ１）。 ③予習（60分） 　創発とはどのような意味なのかを調べておく。 ④復習（60分） 　授業資料を読み直し、創発について整理しておく。
3	①授業テーマ 　創発能力とは② ②授業概要 　コツやカンとはどのようなものであるのかを学び、これらの整理の仕方について創発能力分析報告書への記載方法を含めて学ぶとともに、自身のスポーツ活動にはどのような感覚やイメージがあるのかを表現できるようになる（Ｆ１）。 ③予習（60分） 　前回の授業で扱った創発について授業資料を読み返すとともに、自身のこれまでのスポーツ活動における感覚やイメージについても考察しておく。 ④復習（60分） 　スポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージについて整理しておく。

	4	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論① ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　自身の専門とする競技についての競技力向上に重要な要因を自身の考えを基に抽出し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
	5	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論② ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　前回までの議論に基づいてスポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
	6	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論③ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　前回までの議論に基づいてスポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
	7	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論④ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　前回までの議論に基づいてスポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
	8	①授業テーマ 　議論された内容に関するフィードバック① ②授業概要 　これまでに記録した創発能力分析報告書に基づき議論された内容についての振り返りを行い、自身の持つ感覚やイメージについてより深く分析できるようになる（Ｆ２）。 ③予習（60分） 　前回までの議論に基づいて自身の感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。また、これまでの創発能力分析報告書を読み返し、整理しておく。 ④復習（60分） 　フィードバックされた内容を整理しておく。
	9	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論⑤ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とす

	る学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　フィードバックされた内容を整理し、スポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
10	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論⑥ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　フィードバックされた内容を整理し、スポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
11	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論⑦ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　フィードバックされた内容を整理し、スポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
12	①授業テーマ 　創発能力分析報告書に基づいた議論⑧ ②授業概要 　創発能力分析報告書に記載された内容を基に発表を行う。また、他の競技を専門とする学生と用意されたテーマに基づいて創発能力的観点から議論することを通し、自身の持つ感覚やイメージを表現できるようになる（Ａ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　フィードバックされた内容を整理し、スポーツ活動における自身の動きの感覚やイメージを再考し、創発能力分析報告書へ記録しておく。 ④復習（60分） 　グループディスカッションで共有した知識を、自身のスポーツ活動に置き換えて活用できるか整理しておく。
13	①授業テーマ 　議論された内容に関するフィードバック② ②授業概要 　これまでに記録した創発能力分析報告書を基に、自身の持つ感覚やイメージについてより深く分析できるようになる（Ｆ２）。 ③予習（60分） 　創発能力分析報告書の記載内容及びこれまでの議論内容について整理しておく。 ④復習（60分） 　1回目と2回目にフィードバックされた内容について整理しておく。
14	①授業テーマ 　創発能力分析のまとめと授業内レポート ②授業概要 　これまでの授業で学習した創発能力分析のまとめを行い、授業内レポートを実施する（Ａ２・Ｉ３）。レポートについては15回目授業にて解説を行う。 ③予習（60分） 　創発能力分析報告書の内容を確認し、まとめておく。 ④復習（60分） 　創発能力分析をまとめた内容およびレポートへの記載内容について整理しておく。

	15	①授業テーマ 　総括 ②授業概要 　これまでの授業内容を振り返り、全体的な総括を行う。さらに、授業内レポートの解説を実施する（Ｆ１・Ｆ２・Ｉ３）。 ③予習（60分） 　これまでに記録した創発能力分析報告書を概観し、自身のスポーツ活動における動きの感覚やイメージ等を明確にしておく。 ④復習（60分） 　総括の内容を振り返り、自身の競技力向上の要因について考える。
関連科目	スポーツ運動学原論（SSCS1308）、競技スポーツ習得実習Ⅱ（SSCS1304）、競技スポーツ実習Ⅰ（SSCS1301）、競技スポーツ実習Ⅱ（SSCS1302）、競技スポーツ方法実習Ⅰ（SSCS2305）、コーチング学研究法演習（SSCS2317）	
教科書	指定しません。	
参考書・参考ＵＲＬ	特にありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　開講時に告知します。 ■オフィスアワー　開講時に告知します。	
研究比率		

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.